

さいたま市長 7月定例記者会見

平成28年7月28日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社のテレビ埼玉さん、進行をよろしく願い  
いたします。

○テレビ埼玉 7月の幹事社を務めますテレビ埼玉と申します。よろしくお願いいたします。  
ます。

それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願い  
いたします。

○ 市 長 皆さんもご存じのとおり、相模原市の障害者施設におきまして大変痛ま  
しい事件が起きました。犠牲になられた方々を初めご家族の皆様には心よ  
り哀悼の意を表するとともに、負傷された方々の一日も早い回復をお祈り  
申し上げたいと思います。

さて、さいたま市では平成21年度より市民の皆さんの声を直接お聞き  
する場としてタウンミーティングを実施しております。これまで111回  
開催しまして、2,200人を超える方々からさまざまなご意見を頂戴し、  
市政に反映をまいりました。今年度も今週土曜日からスタートいたし  
ますので、各区で参加者の皆さんと直接お話しできることを楽しみにして  
おります。

それでは、議題の説明に移らせていただきます。

### 市長発表：議題1「めざせ！ 1日8,000歩 さい たま市健康マイレージの参加者を募集します」

まず初めに議題1「めざせ！ 1日8,000歩！ さいたま市健康マイ  
レージの参加者を募集します」についてご説明をさせていただきます。

昨年度から準備を進めてまいりました「さいたま市健康マイレージ」の  
申し込み受付を9月1日から開始いたします。

「さいたま市の健康マイレージ」は、「めざせ！（1日）8,000歩！」  
というキャッチフレーズにしまして、市民の皆さんが楽しく歩くことで健

康づくりに取り組んでいただくことを後押しする事業であります。

健康マイレージの実施によりまして、健康に気をつけている人や健康づくりに取り組む人を増やし、特に時間にゆとりのない働き盛りの世代に健康づくりを意識した生活習慣をしていただくことを狙いとしております。参加してもらっただけではなくて、継続して取り組んでもらうためにもポイント制度を導入してまいります。

まず、健康マイレージの全体の（事業）スキームですけれども、通信機能つきの活動量計、または「さいたま市健康マイレージ」の専用アプリをダウンロードしたスマートフォンを携帯して歩いていただくだけでございます。機器に蓄積されました歩数情報は、専用システムに情報を送信して、（専用）ウェブサイトで確認することができます。

そして、1日8,000歩以上歩くとポイントを獲得することができます。体組成計で体の変化の状態が見える化することで、歩くだけではなくて、その成果も参加者ご自身で確認ができるというものでございます。

この健康マイレージ制度を導入する背景でございますけれども、市民の健康に関する意識調査の結果から、日常におきまして1日1時間以上歩いている人の割合が、平成17年の調査時点よりも平成24年の調査時点では、各世代ともおおむね上昇しているということになっておりますが、国の目標であります健康日本21の1日当たりの歩数が男性が9,000歩、そして女性が8,500歩と掲げられておりますけれども、これと比較するとまだまだ少ない状況にあります。中でも働き盛りであります20代から50代にかけてその傾向が顕著であったということでございます。

また、さいたま市の国民健康保険加入者と協会けんぽ加入者のさいたま市民の特定健康診査のデータを分析しましたところ、歩行または同等の身体運動を1日1時間以上実施している人の割合が男女とも40代、50代で大変低いという状況がございます。このような意識調査・データ分析から、本市の現状として、特に働き盛りの世代において健康への意識があっても時間のゆとりがないということから、日常的な身体活動が少ないことが課題として浮き彫りになっております。

一方で、1日1時間以上歩いている人の割合は全体としては増加していることから、市民の皆さんが楽しみながら歩くことを継続できる環境、ま

た仕組みづくりが必要であると考え、本事業の導入に至ったというところでございます。

健康マイレージにおきましては、この「めざせ！ 1日8,000歩！」をキャッチフレーズとしておりますが、なぜ1日8,000歩なのかということではありますが、これは国内の研究から、1日8,000歩を歩くことで、高血圧症、糖尿病、動脈硬化、骨粗しょう症、ロコモティブシンドロームの予防に効果があると言われておりますことから、市民の皆さんが比較的無理をせずに達成ができる歩数として歩いていただくことを目標といたしました。

また、国の第2次健康日本21の目標からは少し低い目標とさせていただいて、できるだけ多くの皆さんがクリアできるようにということで設定したところですが、まずは、無理せずにご自分が1日何歩歩いているかということから意識をしてもらうために、確認することから始めていただければと考えております。

健康マイレージの参加の流れについてでございますが、まずは参加の登録をしていただき、次に歩く、健診を受診する、そして蓄積したデータを専用システムに送信し、ポイントをためて、取り組んだ成果を確認する。これによって抽せんに応募ができるという流れになっております。

最後に、健康マイレージの概要について再度お知らせをいたしますと、9月1日木曜日から参加申し込みの受け付けを開始いたします。対象者は20歳から64歳までの市民にしております。平成28年度は、先着で1万人の参加者を募集いたします。この1万人のうち、スマートフォンアプリでの参加、そして活動量計の参加者をそれぞれ5,000人で、先着順にさせていただきます。

そして、この健康マイレージに参加いただきますと、一定の歩数や健診の受診によりましてポイントを獲得することができ、抽せんに応募し、景品が当たります。平成28年度は、自転車なども用意してございます。

また、活動量計を希望する方には説明会に参加していただき、アンケートへの協力、また体組成計による測定に協力をしていただくことで無償提供をさせていただきます。

健康マイレージの運営事務局は8月1日月曜日の午前9時から開設する

予定ですので、市民の皆様のお問い合わせはこちら（[0570-001-404](tel:0570-001-404)）にお寄せをいただきますようお願いしたいと思います。

また、健康マイレージにつきましては、市民個人としての参加だけではなく、事業所単位での参加も募集をしております。募集時期は同様ですが、市内事業所に在勤する20歳から64歳までの方を対象としております。事業所単位で参加することで、組織として気軽に、また楽しく健康づくりに取り組むきっかけとして利用していただきたいと考えております。事業所として参加していただき、年間を通じまして優秀な取り組みをした事業所に対しては表彰も予定をしております。

健康マイレージは、平成29年度につきましては参加者3万人を目指していく予定でございます。働く世代のインセンティブによりまして、時間がなく、なかなか自分の健康を意識した生活ができなかった方、また健康づくりには無関心な方にも気軽に参加していただきたいと思います。健康マイレージに参加していただき、まずは自分が1日何歩歩いているかということを確認していただきたいと思います。

ちょっとした意識の変化が生活習慣病の予防や介護予防にもつながってまいります。その結果が健康寿命の延伸につながり、最終的には医療費の削減効果も期待できると考えております。「めざせ！1日8,000歩！」をスローガンに市民の皆さんの参加づくりを応援していきたいと考えております。

議題1については以上でございます。

## 市長発表：議題2「第37回九都県市合同防災訓練・中央会場（平成28年度さいたま市総合防災訓練）を実施します」

続きまして、議題2「第37回九都県市合同防災訓練・中央会場（平成28年度さいたま市総合防災訓練）を実施します」についてご説明をさせていただきます。

平成28年度は、本市がこの九都県市首脳会議の幹事市ということになりまして、九都県市の合同防災訓練の中央会場を運営することになります。中央会場とは、9月1日の防災の日に実施する首都圏で最大規模の総合防

災訓練でございます。

九都県市の合同防災訓練の経過といたしましては、第1回目が昭和55年に千葉県を会場として実施をされまして、ことしは37回目となり、本市で実施します。会場は、余り例のない都心部でのさいたま新都心周辺で行います。

さいたま新都心付近では、平成28年3月(29)日に大臣決定されました「首都圏広域地方計画」におきまして、国土交通省の緊急災害対策派遣隊、いわゆるテック・フォースの進出拠点に位置づけられております。また、多数の国の出先機関、また大規模な医療施設などが集積をしております。

本訓練は、大規模地震発生時における迅速かつ円滑な災害の応急対応の対策の実施を目的としまして、市民、防災関係機関、事業所を主体とする総合的な訓練を実施いたします。あわせて、「つながり」をテーマにし、防災意識、また地域の防災力の向上を目的とし、防災体制の強化を図る実践的な訓練を実施する予定でございます。実施日は、繰り返しでございますが、9月1日木曜日9時から12時まででございます。

主会場を大宮区北袋町1丁目地内の三菱マテリアル株式会社の隣接地とし、さいたま新都心を総合的に活用し、そしてその他の会場も含め、約130団体、約1万人の参加者を想定しております。

今回の訓練では、みずからを助ける「自助」、ともに助け合う「共助」を体験して学べるコーナーのほか、救出救護訓練であるとか、あるいは消火訓練、ライフライン応急復旧訓練、救援物資緊急輸送訓練などを実施してまいります。

また、参加する全ての県都市から消防隊あるいはDMA Tなどが消防防災ヘリコプターなどを使いまして中央会場に一堂に集結するとともに、中心市街地での都市型災害をイメージした災害想定としております。

こちら全体が今回の訓練の主会場となります三菱マテリアル株式会社の隣接地でございます。首都高速道路からのヘリコプターによる救出訓練、またさいたま新都心駅構内における列車事故救出訓練、災害拠点病院での負傷者受け入れ訓練など、主会場とさまざまな会場との連携訓練を計画しております。この訓練によりまして、市民の皆さんを初め首都圏の皆様の

防災、そして減災への意識を高めていただくとともに、参加部隊等の技能の向上、また九都県市各自治体の連携体制強化を図っていきたいと考えております。

議題2の説明は以上でございます。

## 議題1に関する質問

- テレビ埼玉      ありがとうございます。
- では、市長からの説明について質問をお願いします。まず、幹事社のほうからお聞きさせていただきます。最初の1日8,000歩の健康マイレージのほうなんですけれども、この取り組みというのは、これまであまり健康に興味のなかった方にやってもらうことによって意義があると思うのですが、そういう方に対しての周知というか、そういう方により参加していただくためには、何かお考えはあるのでしょうか。
- 事務局      周知につきましては、チラシの配布、各区の情報公開コーナーなどにお配りする予定ですが、そのほか事業所様の機関紙での啓発などを行っております。また、直接事業所さんのほうにご協力の呼びかけをしていくことで、今まで余り健康づくりに関心のなかった方たちにも働きかけをしていく予定でございます。
- 読売新聞      読売新聞と申します。
- 今回の1日8,000歩で使用される活動量計とアプリケーションですが、さいたま市とタニタさんでしたっけ、独自に専用のものを開発されたようなイメージになるんですか。
- 事務局      活動量計につきましては、タニタの活動量計で、独自開発ではございませんで、既存のものでございます。専用アプリにつきましては、委託業者と開発をしております。
- 読売新聞      開発費というのは、どのくらいかかるものなのでしょうか。
- 事務局      システムの開発は1,000万円を超えております。1,800万円前後ぐらいで、既存のシステムをカスタマイズすることで価格をなるべく下げようという形で対応しました。
- 読売新聞      利用者の方の使用データとか、そういったものの扱いというのは、どこかに集めて、このデータをいわゆるビッグデータの手法というのは予定

されているのでしょうか。

- **市長**      これまでもモデル事業として300人ぐらいを対象に、その活動と、それに対してどのように健康データが変わってきたかということをやってきました。今回も1万人の方々によってこのデータとして健康にどれだけ寄与できるのかということがより把握しやすくなるだろうと考えておりますので、ビッグデータ的に扱わせていただいて、個人情報については十分法令の規定に基づいて保護をし、事業目的以外には使用しないと。基本的には、個人名が入らない形のビッグデータとして、歩くことの健康への効果などについて十分分析をし、また今後のいろいろな取り組みに生かしていきたいと考えております。
- **読売新聞**      このデータの管理運用というのは、さいたま市のほうで自前でなさるのですか。それとも、どこか別の第三者というか、会社などに委託して行う予定なのでしょうか。
- **事務局**      業者と委託をしております、そこで管理をしております。
- **共同通信**      共同通信と申します。  
健康マイレージの件でなんですけれども、こうした取り組みというのはほかの自治体さんでも先駆けてされているのでしょうか。そのあたりを聞かせていただければと思います。
- **市長**      先行事例はございまして、大きいところだと横浜市さんなども行っています。また、ポイントをためるという仕組みはICTを使っているか、あるいはアナログ的なカードを使っているかというのはさまざまでございます。
- **テレビ埼玉**      そのほかご質問ある方いらっしゃいますか。
- **時事通信**      時事通信社です。  
ポイントに応じて景品の抽せんに応募できるというもので、景品は何かという話と、事業所単位の参加のインセンティブは何か、この2点をお願いします。
- **事務局**      1点目のご質問の今年度の景品につきましては、自転車、それから電動歯ブラシや体組成計、そして図書カードなどを用意してございます。  
2つ目の事業所へのインセンティブということですが、具体的なこういった景品ではなくて、どれぐらいの継続率ですとか参加率、そういったと

ころの効果についてのデータを事業所様宛てには提供していく予定でございます。また、先ほどの説明の中でございましたけれども、表彰なども用意する予定でございます。

- 時事通信 自転車は、どんな自転車を予定されているのでしょうか。
- 事務局 今調達中でございますので、また具体が決まりましたらチラシ等でご案内したいと思います。
- 時事通信 いわゆるママチャリなのかロードバイクなのか、その辺結構モチベーションにかかわってくると思うのですが。
- 事務局 ママチャリではないのですが、そんなに高価なものでもなく、ほどほどで探しております。
- 市長 いいものですね、いいもの。値段は別として、いいもの。
- 共同通信 あと1点追加をお願いします。これは、基本的にはアプリとかの利用は1年間で、もし来年もまた継続したければできるのでしょうか。それとも1年限りということになるのでしょうか。
- 市長 ポイントは、通常は1年間でやっていくことになっておりますよね。
- 事務局 こちらは、継続してお使いいただけるような仕組みで考えております。

## 議題2に関する質問

- 読売新聞 今回九都県市で、幹事市さんがさいたま市さんでということですがけれども、基本的には埼玉県じゃなくて、こちらのさいたま市さんのほうで大部分を取り仕切るというようなイメージでよろしいのでしょうか。
- 市長 そうです。
- 読売新聞 いろいろと訓練の内容がありましたけれども、今回主要なテーマといたしますか、例えば帰宅困難者の訓練とか、あるいは災害医療拠点の運用とかいろいろあると思うんですけども、一番重点を置きたい部分というのはどこになりますでしょうか。
- 市長 今回の訓練の特徴あるいは重点的な訓練についてですがけれども、まず1つとしては、今回3月29日に首都圏広域地方計画が発表されまして、この国の機関が集結するさいたま新都心付近一帯がその首都直下型地震のバックアップ拠点という位置づけをいただきました。そのバックアップ拠点になる一帯を使用して、九都県市全ての実働部隊が救出救助訓練ある



いは消火訓練及び航空機の訓練などを行うという意味では、首都圏で大きな地震が起こった際の、まさに大きなシミュレーションになってくるだろうということが一つあるかと思えます。そして、住民、企業、行政から130機関、1万人という方々に参加をいただくという大変大規模な事業になるということです。

それから、今回は住民の皆さんも、できるだけ多世代の方々に参加をいただくということで、小中学生、高校生、(看護)専門学生にもご参加をいただくことになっております。

また、医療救護活動の訓練を重点的に実施していきたい。特に救出された被災者のトリアージであるとか容体の安定化処置というものを行っていくと。それで、重傷者の患者さんについてはヘリコプターなどで搬送するというような、こういう一連の流れをしっかりと訓練として実施をするということになります。

ほかに何か補足することはありますか。

- 事務局      市長のとおりなんですけども、世代間のつながりという部分では小中高校生がともに協力し合って行うような訓練を計画しております。
- 読売新聞      今回の訓練で新たに行われる、要はこれまでの防災訓練ではやっていなくて新たに行われるものとか、あと写真とか取材するに当たって目玉になりそうな場面というのはありますでしょうか。
- 事務局      今回初めてという部分では、首都高速道路の本線上を通行止めにして、ヘリコプターの救助やはしご車からの救出の訓練を考えております。それと、新しくできる災害拠点病院での負傷者の受け入れ訓練というものが大規模になります。あと1点については、JRのさいたま新都心駅構内で行われる実動の実車を使っての救出訓練という部分では、その3点が九都県市の中でやる訓練については初めてということになります。
- 読売新聞      高速道路を止めて、そこで訓練を行うということですか。
- 事務局      はい、そのとおりになります。
- 読売新聞      これは、余りこれまで行われた事例というのではないのですか。
- 事務局      これまでではございません。九都県市の防災訓練では、そういう環境で実施したことはございません。
- 読売新聞      JRの実際にお客さんが乗っている車両を止めてということなんですか。

- 事務局            訓練用に事前に持ってきていただいて、何両編成かというのは今調整中  
ですけれども、実際に乗客役として、多数の方を負傷者役なり乗客役なり  
という形で設定しまして、警察、消防、DMAT等が救出する訓練を予定  
しております。
- 読売新聞        通常運行している車両とは別に用意するという事なんですね。
- 事務局            ふだんは通常使っているものですがけれども、訓練用に用意していただ  
けるということになります。
- 読売新聞        通常の運行ダイヤとは別に、防災訓練用の車両を貸し出すと。
- 事務局            ご用意していただけるということになります。
- 読売新聞        駅で、実際に使われている構内で訓練をするには、短期間で行われると  
いうことですか。
- 事務局            新都心の状況を見ますと、大体8路線ぐらいありまして、(その一部の)  
線路を閉鎖して、その区間でやらせていただきます。
- 時事通信        時事通信ですがけれども、今の災害拠点病院での赤十字病院だと思うんで  
すけど、具体的に何やるかちょっと教えてください。
- 事務局            主会場から搬送された負傷者、それと先ほど言った首都高から搬送され  
た負傷者、それとJRから搬送された負傷者、そこでトリアージをして、  
ドクターが救命処置をやります。全部で埼玉県内にDMATが17機関あ  
りますけれども、16機関が参加するというような大規模な訓練になりま  
す。
- テレビ埼玉     市長からの説明についてご質問ある方いらっしゃいますか。

**幹事社質問1：荻原浩さんが直木賞を受賞したこと  
について**

**幹事社質問2：さいたま市の渇水対策について**

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。質問はまとめ  
て行いますので、よろしくお願ひします。

まず、1つ目なんですが、先日旧大宮市出身の荻原浩さんが直木賞を受  
賞されましたけれども、その受けとめと、あと今後荻原さんが表敬にいら  
っしゃるのか、あと市民栄誉賞などの今後の対応について教えてください。

あともう一点が水不足なのですがけれども、いわゆる30%の取水制限を

した1994年と同じ程度にまで減少しているという話もありまして、さいたま市として考える渇水対策について教えてください。

○ 市 長

それでは、幹事社の質問に順次お答えしたいと思います。

まず、1点目の旧大宮市出身の荻原さんの直木賞受賞に関する質問にお答えをしたいと思います。荻原さんは、大宮南小学校、そして大宮南中学校、県立大宮高校のご卒業と伺っております。まさに人間形成の基礎となる一番大切な時期をさいたま市で過ごされ、さいたま市内の学校で学ばれたということでもあります。いわば生粋の「大宮っこ」、また「さいたまっこ」でありますので、荻原さんが直木賞という大変栄誉ある文学賞を受賞されたということは、さいたま市民にとっても大変誇らしいことであると考えております。市民を代表して心からお祝いを申し上げたいと思います。

荻原さんの作品は、「愛しの座敷わらし」など映画化されたり、あるいはテレビドラマになったものも多くあると伺っており、多くの国民に浸透し、また愛されている作家であると考えております。

生まれ育ったさいたま市や大宮の思い出、また今もさいたま市内にいらっしやるご友人などを大切にいただき、これからもよい作品をつくり続けていただきたいと思いますと考えております。

今後市としてどのような対応をしていくかについては、現時点ではまだ未定となっておりますけれども、市民の皆さんにとっても誇らしいことであり、何らかの表彰を考えておりますけれども、具体的にはこれから検討していきたいと考えております。

続きまして、2つ目の水不足についてのご質問にお答えをしたいと思います。本市では6月15日に水道局内に渇水対策本部を設置しました。市内水道施設に節水広報看板を掲出するとともに、渇水状況や節水方法等についてホームページで掲載をし、節水広報活動を実施しているところであります。

渇水対策本部を設置しました6月15日以降、関東6都県に水を供給する利根川の上流ダムの貯水量は横ばいでありますことから、現時点でさいたま市民への影響はございません。しかしながら、梅雨明けに伴いまして、今後の雨量の動向によってはさらなる取水制限が懸念されますことから、さいたま市では自己水源である地下水を有効に利用して不足水量を補填す

ることで、市民への安定給水の確保に努めてまいりたいと考えております。

○ テレビ埼玉      ありがとうございます。

今の幹事社代表質問の説明に関して質問がある方はお願いします。

## 幹事社質問 2 に関する質問

○ 埼玉新聞      埼玉新聞と申します。

今の水不足についての関連なんですけれども、今地下水の利用と市長おっしゃったのですが、具体的にこれはどういったものを利用されるのでしょうか。

○ 事務局      市内に63本の深井戸を所有しておりまして、そちらからくみ上げて利用します。

○ 埼玉新聞      それは飲料用とか工業用とか、用途はどういう感じになるのでしょうか。

○ 事務局      全て飲料用でございます。

○ NHK      NHKです。

先ほどの話に引き続きなんですけれども、地下水をくみ上げてという件は、どういう段階で地下水を使わなきゃいけないとか、そういう基準があったりするのでしょうか。

○ 事務局      現時点でも井戸を使用してくみ上げてはいるのです。ただ、最大量というのがありまして、今は3分の1ぐらいしか使っていないのですが、緊急事態の場合には、それを上げてということになります。

○ 毎日新聞      毎日新聞なんですけれども、緊急事態というのは給水制限が生じたときという意味でよろしいのでしょうか。

○ 事務局      今は取水制限で、(送水)制限というのは受けていないのです。

○ 毎日新聞      給水制限が生じたときということなんですか、緊急事態というのは。

○ 事務局      (送水)制限があったときということです。送られてくる水が減ってきたときということです。

○ 市長      (送水)制限がどのぐらいになったときに緊急事態として使うかということですね。

○ 事務局      取水制限が今10%ですが、30%になったときということになります。

○ 時事通信      水なんですけど、水系はどこになるのですか。深井戸の水系。荒川水系とか荒川の伏流水とかという。

- 事務局           地下水については、河川からではなくて深井戸の、私どもは250メートルから約300メートルの深度で掘っていますので、そこからくみ上げております。
- テレビ埼玉      代表質問に関して質問ある方いらっしゃいますか。
- 埼玉新聞        水についてもう一点なんですけれども、それはやっぱり緊急事態になった際に井戸を利用するというお話だったんですが、逆に例えば今市役所の前で、水の流れる段床ですとか、水を幾つか使っている部分がある。その辺の利用制限ですとか、そういったものというのはいくつかあるのでしょうか。
- 市長            現時点では学校のプールでありますとか、あるいは市役所の前（水の流れる段床）でありますとか、あるいは都市公園で行っております市営プールでありますとか、そういったことについては現時点では制限を行っておりませんが、今後対策本部のほうからいろいろご指示をいただいた中で、これらについて自粛をしていくというようなことはあるかと思っております。現時点では、今のところはないという状況でございます。
- テレビ埼玉      そのほかに質問のある方は質問をお願いします。

**その他：相模原の障害者施設における事件の対応について**

- NHK            NHKです。  
相模原の事件、障害者施設に男が押し入って、19の方が亡くなった事件が発生しましたがけれども、これを受けて、さいたま市にも障害者施設あるかと思うんですが、これに対する対応というのはいくつかありますでしょうか。
- 市長            冒頭にも申し上げましたけれども、今回大変痛ましい事件が起こりまして、多くの方々の命が失われたということは本当に大変残念であり、心からご冥福をお祈り申し上げたいと思っております。  
さいたま市としては、この事件を受けまして、7月26日火曜日の午前中に、障害、高齢、介護、児童のそれぞれの福祉施設等、合計1,555施設に対しまして注意喚起の文書を電子メール（等）によって送付いたしました。
- NHK            例えばメールを配信して、その後例えば会議を開くであるとか、緊急の

とか、そういった動きがあったりすることはありますか。

- 市長 現時点においては、今後の課題等、今回起こりました事件について市としてもいろいろな形で検討している段階でございますし、また国としても課題を整理して、今幾つか課題が浮き彫りになっているところもありますので、そういったことも踏まえて対応していくことにしております。現時点としては今その辺の課題などについて精査、検討しているという段階であります。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 今の件に関連してなんですけど、7月26日午前中に注意喚起を行った施設というのは、具体的に例えば市営ですとか、民間の施設ですとか、今回相模原の場合は知的障害者施設ということだったんですが、具体的にどういった施設がその喚起を促す対象だったんでしょうか。
- 市長 障害者関係の施設が280施設、それから高齢介護関係の施設が672施設、保育関係の施設が349施設、そして児童関係の施設が254施設、合わせまして1,555施設ということでございます。
- 毎日新聞 毎日新聞なんですけれども、注意喚起の内容を伺いたいですけれども、例えば施設強化とか、何について注意を喚起したのか教えてください。
- 市長 まず、午前中に行った第一報としましては、それぞれの施設に不審者の侵入ということについて十分に注意をするようにというメールを送らせていただいたということでございます。
- 毎日新聞 それ以上のことについては、今後検討するということですか。
- 市長 そうですね。
- テレビ埼玉 ほかにご質問ある方いらっしゃいますか。
- 市長 少し補足して申し上げますと、ちょうど平成21年に高齢者施設で発生した火災事故を受けて、さいたま市としても各社会福祉施設における防災マニュアルについては整備は進んでいるということなのでございますけれども、今後各施設で定めております危機管理マニュアルの見直しでありますとか、施設職員のメンタルヘルスの管理について十分に配慮して、必要に応じて行政機関の積極的な利用を促すようにしていこうと考えているところでございます。

また、さいたま市のこころの健康センターであるとか精神保健課等、関

連する所管もございますので、そういったところと連携をしながら、こういった対策について強化をしていこうと現在検討しているところでございます。

### その他：さいたまクリテリウム100日前イベントに参加しての感想は。

○ 時事通信 別の話題で、前回の会見で話がありましたクリテリウムの関係で、何回か新都心とかでPR活動やられたと思いますが、100日切ったということで、市長が参加されての感想を一言お願いします。

○ 市長 ことしでツール・ド・フランスさいたまクリテリウムにつきましては4回目になりますが、おかげさまで過去3回に比べ、準備の状況については比較的順調に進んでいると考えております。昨年に続きまして、ことしも100日前のカウントダウンイベントということで、100日を記念したキャンペーンをさいたま新都心でやらせていただいたり、カウントダウンのSNSもスタートさせました。先日私も現場訪問で銀座に設置しました東急プラザのところのさいたまクリテリウムカフェにも行ってきました。お店の方にもいろいろお話を聞いてきましたけれども、ふだんなかなかそのビルにお越しをいただけないような層の方々が、かなりクリテリウムカフェにお見えになっているというようなお話をされておられました。ちょうど銀座4丁目の数寄屋橋交差点の、まさに銀座のど真ん中でございますので、たまたま寄ったというよりは、むしろそこを目指して、インターネット等を通じて、調べていらっしゃる方が多いということです。4回目ということで、イベントの認知度としては年々上昇してきているという感じを持って、一種の手応えというか、そういったものも感じているところでございます。

ことし本大会2016ツール・ド・フランスが閉幕しました。既に出場が決定しておりますクリス・フルーム選手が総合優勝されたということで、私たちとしても、過去3回来てくれましたクリス・フルーム選手がことしもマイヨジョーヌを着て出走してくれる、このクリテリウムに参加してくれるということは大変心強い限りでもあります。多くの皆さんに、またすばらしい、迫力のあるレースを見せてくれるだろうと期待をしているとこ

るであります。

## その他：ポケモンGOについて

- **読売新聞**      先日配信が始まりましたスマートフォンアプリのポケモンGOに関してお尋ねしたいと思うんですけども、結構町なか見ても使っている人が多く見受けられますけれども、さいたま市の管理する施設なんかで、かなり多くの方が通常より集まっている場所とか、それに伴って利用に支障が出たりして、例えば利用者に対して何か案内を出すとか注意喚起を行うとか、そういう対応を行っている場所とか、予定している施設というのはありませんでしょうか。
- **市 長**      現時点では、ものすごく来過ぎてということではありません。いろいろな情報の、正式な報告というところまではいっておりませんが、公園等にかかなり集まって、通常は時間帯、場所によって、どちらもいないところにもかなり人がいらっしゃるといような報告は受けておりますけれども、現状としては公共施設の利用に妨げになるような状況までは報告を受けておりません。
- **埼玉新聞**      関連してなんですけれども、埼玉新聞なんですけれども、ポケモンGOで、鳥取県は知事みずからが砂丘を観光名所にしようということで非常に力を入れていらっしゃるんですけども、さいたま市としては今後世界盆栽大会ですとか、いろいろ観光客が多くお見えになるイベントがたくさんあると思うんですけども、それに向けてですとか、それと関係なくてもいいんですけども、これを観光に積極的に活用していこうとか、そういう考えというのはございますでしょうか。
- **市 長**      私自身はゲームをほとんどというか、一切やっていないものですから、どういうものかまだ十分わかっておりませんが、ポケモンGOによるメリットとデメリットがございます。  
いい面としては、そういったいろいろな観光地を訪問していただける一つの契機になるというようなことであったり、あるいは先ほど健康マイレージの話をしましたけれども、歩くことを促進させたりといういい面の効果もあろうかと思えます。  
もう一方でやはり利用の仕方について、十分注意をしていただきながら



利用していただくことの必要性などもございますので、そういったことなども十分把握をしながら、今後どういう形で注意喚起であるとか、あるいは対応していくのかと。これは、メリット、デメリットをどう活用していくのかということも含めて考えていきたい。

○ 埼玉新聞 確認なんですけれども、そうするとデメリットのほうでちょっとお伺いしたいんですけれども、国の例えば首相官邸ですとか、あと原発施設ですとか、神社とか、学校とか、恐山、霊場とかでは、こういうのはできれば来ないでくれということで告知をされているところもあるかと思うんです。さいたま市内では、例えば人が入らないでほしいとか、そういうご報告というのは何かあるんですか。

○ 市長 禁止をしている施設はないと聞いておりますけれども、ただ、図書館ですとか、あるいは他の方々にもちょっとご迷惑になってしまうような場所については、一部使い方等についての（注意喚起をしていく必要があると考えております。）

○テレビ埼玉 テレビ埼玉なんですけれども、そのポケモンGOに関連しましてメリット、デメリットを若手職員の方に、ある程度何人かに頼んで、そういう検証チームじゃないんですけど、そういうのをつくるとかというご予定はあるんでしょうか。

○ 市長 全然わからなくてそのままにしておくというわけにもいきませんので、何人かの職員には、どういうところにいるのかとか、あとゲームの中の特性はどういうことがあるのかということについては、今対応してもらっております。

○テレビ埼玉 その結果を取りまとめるとかというご予定はありますか。

○ 市長 どのように利用についての注意喚起をしていくか、あるいはどういうふうにそのよさを活用していくかということについても、あわせて考えていきたいと思います。

ただ、いずれにせよまだスタートしたばかりで、必ずしも適切に使われていないというケースもかなり報道されておりますので、そういったことも含めて、特に大人もそうですし、子供たちにも操作の仕方、あともともと歩きながらスマートフォンをやってはいけないということもございまして、そういったことも含めて注意喚起と、両方しっかりとやっていく必

要があるのかとは考えております。

- 読売新聞 検証チームですけれども、もう少し詳しく聞きたいのですが。
- 市長 チームというところまではいっておりませんが、個々に、今ポケモンGOが話題にはなっていますけれども、やっていないとどういう特性があって、どういう課題があって、どんなことが起こり得るのかというのが把握できなかつたり、あるいはポケモンがどこにいるとかということで皆さん集まってくるようですけれども、中には役所の中にもいたりするらしいのです。
- 読売新聞 趣旨としましては、やっぱり市の管理する施設にどんな（影響があるのかということですか。）
- 市長 影響があるかということもありますし、公共施設については特定の方だけではなくて、かなりいろいろな方がご利用される、あるいは区役所とか市役所もいろいろな方々との関連性もありますし、また執務上いろいろな妨げになってもいけないということもありますので、そういった影響がどうであるのかということと、あともう一つは、子供たちとか市民の皆さんへの注意喚起、使い方が、どういうことに気をつけたらいいのかということであったり、あるいは一部では逆に観光とか、そういったことに活用できないかというような視点もあるようですから、そういった視点も含めて、いいところと悪いところと両方とも踏まえておかないと十分な対策ができないと思いますので、まずチームというところまではいっておりませんが、何人かの職員がそういったことをして報告してくれております。
- 読売新聞 何人ぐらいの方に。
- 市長 今のところ把握しているのは、まだ数人ぐらいですが。市のほうでも、市庁舎でも何人かおりますが、あと（教育委員会のほうでも）実際に操作しながらどのような影響が出るかということを検証していると聞いております。  
また、その検証の結果をもとに、学校を通じて子供たちに危険がないこと、また巻き込まれないようにということを指導して、できれば夏休み期間中に注意を呼びかけていくということを考えていると聞いております。
- 読売新聞 職員の方何人かと、あと市教委のほう。
- 市長 はい。

- 読売新聞            どのぐらいの陣容なんですかね。
- 市 長                それは、後でまたよく調べて、ちゃんとしたチームという形ではできておりませんので、個々で対応してくれているので、その辺がどうなっているかを含めて。
- 読売新聞            個々でのほうは一応職務として。
- 市 長                もちろん職務としてです。これは、私用でのスマホは原則として勤務中は禁止ということになっておりますので。

### その他：スポーツイベント開催に伴う経済効果について

- テレビ埼玉            テレビ埼玉です。  
                               ちょっと話題が変わるんですけども、先日スポーツイベント開催に伴う昨年度の経済効果額が推計で出たんですけども、一応前提としては約80.2億円ということで、ツール・ド・フランスだけを見ますと、一昨年度よりも経済効果自体は減少してしまったという結果なのでですけども、この結果を踏まえてどのように受けとめていらっしゃるのか教えてください。
- 市 長                人数が若干、一昨年と比べると減少したということがございました。今後は、さらに広報を含めて、来場者を増やしていくということも一つありますし、また経済効果を高めるために、自転車まちづくり部会とか、あるいは商業の活性化につながる部会とかつくっていますので、そういう中でこのイベントを地域の経済活性化により一層生かすための取り組みというのを、今商店街のいろいろなキャンペーンに活用していただくということも考えておりますけれども。そういったことも含めて、より経済効果が高くなるように、年々人数が増えるということだけではなくて波及していく工夫をしながらやっていこうということで今取り組んでおります。
- テレビ埼玉            そのほかご質問ある方はいらっしゃいますか。

### その他：リオ五輪参加選手に対する応援エール、応援イベントについて

- 埼玉新聞            埼玉新聞と申します。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックについてお伺いいたします。いよいよ本番が間近に迫ってまいりまして、選手団の現地入りのニュースなんかも流れております。さいたま市ゆかりの選手もオリンピックに参加される方が大勢いらっしゃると思うのですが、まず市長の各選手の皆様に対しての応援のエールですとか、それとパブリックビューイングですとか、市として例えば応援のイベントの開催のご予定などはございますでしょうか。

○ 市 長      それでは、応援のメッセージということでございますけれども、選手の皆さんは、20日ごろから徐々に現地等に向けて出発されると伺っております。試合そのものに向けたコンディションの調整はもちろんですが、リオの大会開催に当たっては、長時間にわたる移動、暑さ、ジカ熱といった現地の状況への対応も求められることから、本番を迎えるまでにも何かとご苦労が多いかと思えます。

試合中は、まさに自分自身との戦いだと思っております。自分の力を信じ、また厳しい練習にもこれまでずっと耐えて頑張ってきたことを誇りに、自信を持って大会に臨んでそれぞれがベストを尽くしていただくことで、結果がおのずとついてくるのではないかと思っております。最後は、みんなが笑顔で帰ってきてくれることを期待しております。どうかけがに注意をされて、また十分なコンディションで大会に臨んでほしいと思います。

それから、応援体制についてでございますけれども、現時点で決まっているものについてですが、さいたま市では今、市で把握できている方だけでもオリンピックで6名、パラリンピックで6名の方々が大会に出場されると伺っております。

市としては、本庁舎あるいは消防庁舎、区役所庁舎に懸垂幕などをまず掲出をして、市民の皆さんと一緒に選手たちを応援していこうと考えております。これは、8月4日木曜日までに設置ができる予定でございます。

また、過密な練習等のスケジュールを調整いただきまして表敬が実現した選手におかれましては、市民を代表して直接私のほうから選手の皆さんに激励等をさせていただいたところでございます。

また、具体的にパブリックビューイングについては、現時点で決まっているものは教育委員会で酒井選手、水泳の代表選手になっております酒井

選手が在学しております土合中学校で、パブリックビューイングの実施を予定しているという報告を受けております。ちなみに、日時は8月14日の日曜日、10時から11時40分でございます。場所は、土合中学校の体育館でございます。

○テレビ埼玉 そのほかご質問ある方いらっしゃいますか。

### その他：参院選の18歳・19歳の投票率について

○ 読売新聞 先日の会見でも少しお話ありましたが、参院選の投票率について市が発表されたと思うんですけども、18歳、19歳の投票率が55.38%ということで、それについての受けとめを伺いたいんですけども。

○ 市長 全国平均が五十幾つですか、それでさいたま市としては60%いくことができまして、特に18歳、在校している高校3年生を対象に、選挙管理委員会、あるいは教育委員会が連携をして、さまざまな対話形式の啓発講座であるとか、あるいはPRビデオの作成をやってきたことがある程度効果が出て、60%という投票率につながったということについては、何とかまあまあよかったと感じているところであります。

ただ、もう一方で19歳については10%ぐらい下回っておりましたので、この層。それから、20代についてはさらに低いという状況で、18歳についてはそれなりに対策が打てたように思いますが、19歳あるいは20歳というもう少し上の若い世代の方々に対する対応ということも、いわゆる選挙の投票率全体を上げるということになりますと、特に若い世代の投票率が非常に低いという現状がございますので、18歳のみならずもう少しきめ細やかなターゲット設定をしながら、啓発活動を行っていく必要性ということを感じているところであります。

○ 読売新聞 その19歳の投票率が低いということについて、考えられる理由は何かありますか。

○ 市長 18歳については、比較的高校に在学をしている生徒さんたちも多いということで、学校からの直接的な、いろいろな啓発なり取り組みを受けとめていただけたのだろうと思うのですが、やはり19歳以上になりますと大学であったり、あるいは専門学校であったり、あるいは実社会の生活をしているという環境の中でありますので、啓発としての活動が、まだ

もう一步届かなかったのかという感じはします。

- 読売新聞 今後の取り組みについて、何か考えていらっしゃるがあれば。
- 市長 国政選挙、それから地方選挙はさらにそれに輪をかけて、非常に投票率が低いという現況がございます。投票するという権利は、国民に与えられた大変重要な権利、参政権でありますから、これをやはりしっかり生かしていただくために、もう少し啓発であったり、教育であったりということを実施させていくことが必要かと思っておりますし、また啓発、PRの部分について言うと、少しきめ細かなターゲットを意識した取り組みということが必要になってくると感じておりますので、そういったことも含めて、今後選挙管理委員会のほうで検討を進めていただければと思っております。
- 読売新聞 ありがとうございます。
- テレビ埼玉 そのほかに質問ある方いらっしゃいますか。  
どうもありがとうございました。以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。  
次回の開催は8月23日でございます。時間は1時半でございます。ありがとうございます。

午後2時34分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。